

6月 茅の輪くぐり神事

# なごし おおはらえ 夏越の大祓

日頃、無意識のうちに犯している<sup>あやま</sup>過ちや<sup>つみ けが</sup>罪穢れを、祓い清め、明るく楽しく、大晦日まで健康に過ごせるように祈る神事です。

日時 令和8年6月30日(火) 午後5時30分から  
ところ 國神社

暑い夏を健康に過ごせるよう、  
ご家族一緒にお参りください。

なお「茅の輪」は  
6月14日(日)  
よりくぐれます



## 「茅の輪くぐりの神事とは…。」

正月から半年間のケガレを祓い、残り半年 12月末までの無病息災を祈願するという意味があります。茅の輪をくぐることで禊(みそぎ)をして邪悪な穢れ(けがれ)を祓い、災難を予防する為のものです。6月30日に行われ、夏越の大祓(なごしのおおはらえ)と言います。「茅の輪くぐり」については日本神話に基づきます。

昔、ある兄弟のところに、一人の旅人が現れて一夜の宿を乞いました。裕福な兄は旅人を冷たく断り、貧しいながらも弟の蘇民将来(そみんしょうらい)は温かく旅人をもてなしました。数年後、旅人が恩返しにと再び蘇民を訪れますが、実はこの旅人はスサノオノミコトで、その教えに従って茅の輪を腰に付けたところ、災難から逃れられ、子々孫々まで繁栄したということです。

お問い合わせ 0776-66-1277



國神社ホームページ



KUNIGAMI\_JINJA